

補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		西山公園子どもの森活用事業補助金						課内No.	5		
事務事業名		都市公園等の維持管理			担当所属名	公園緑地課					
②事業期間		始期	平成25年	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	08	項	04	目	04	細目	
⑥根拠法令・規程		(公財)長岡京市緑の協会補助金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		-						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		西山公園子どもの森は、西山公園内の一つのゾーンとして、子どもたちが体験学習できる場、自然を観察できる場、竹林を守り育てて来られた地元の方たちと交流を深める場として平成17年度に整備しました。この子どもの森で、周辺の景観と調和を図りつつ、子どもの健全な育成に寄与し、筍の栽培や筍掘りの体験学習の指導等を地元の協力を得て取り組むため、長岡京市緑の協会と地元団体の長筍会が平成18年度から良好な竹林の育成管理を取り組んできました。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		平成25年度から協会の公益目的事業(自主事業)と位置付け、事業補助金化している。									
⑩補助金の目的		乙訓の子どもたちに、乙訓の自然を代表する竹林やタケノコについて、竹林を守り育ててきた地域の人たちを講師に招き交流を深めながらタケノコの育成、栽培について学び作業を体験する活動(冬の肥料散布・ワラ敷き・土入れ・春のタケノコ収穫)を行う西山公園子どもの森活用事業の一部を補助するものです。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	(公財)長岡京市緑の協会									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	材料購入、緑化指導員、人件費等									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		公益法人法による「児童又は青年の健全な育成を目的とする事業」「地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業」「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する(成果がある)と認定されました。									
金額(円)／年度		25年度決算		26年度決算		27年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	-		-		-					
	府補助金	-		-		-					
	その他補助金	-		-		-					
	一般財源	1,800,000		1,900,000		2,000,000					
	合計	1,800,000		1,900,000		2,000,000					
	前年度比(今年度－前年度)	-		100,000		100,000					
業⑭の団 財体 務又 内は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	2,099,000		2,216,000		2,246,000					
	繰越金	-		-		-					
	市の補助金の割合	85.8		85.7		89.0					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		西山公園子どもの森活用事業補助金		担当所属名(再掲)		公園緑地課		課内No.		5	
視点		点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない		はい								
	市において目的が類似した補助金がない		はい		-						
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある		はい								
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある		はい								
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている		いいえ		-						
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である		いいえ								
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある		はい		補助金がなければ、育成管理の作業を市から直接発注する方法へ変わるため、支出が増加します。						
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる		いいえ		-						
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる		はい		都市緑化の推進						
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。		はい		-						
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である		いいえ								
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある		はい								
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている		はい								
⑰ 公平性	わかりやすい情報発信を行っている		はい		長岡京市緑の協会のHPや機関誌で紹介						
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)		はい								
	公募制度を導入している		いいえ								
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している		いいえ								
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)		いいえ								
⑱ 効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した		いいえ								
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)		いいえ								
	具体的に説明できる費用対効果がある		いいえ								
	補助金としての期限、終期を設定している		いいえ								
⑲近隣市町の状況【選択】		本市のみ実施		他市町の事例		不明					
⑳26年度の取り組み(昨年度)		(公財)長岡京市緑の協会の公益目的事業として位置付けし、事業補助金として取り組み、中学生のタケノコ育成体験などを実施しました。									
21)27年度の取り組み(今年度)		継続した取り組みを行います。									
22)28年度の取り組み(来年度)		継続した取り組みを行います。									
23)今後の方向性【選択】		現状維持		今後の取り組み		今後も継続した取り組みを行います。					
24)その他特記事項(留意事項など)		-									